

赤十字家庭看護法・健康生活支援講習の変遷(大正15年～現在)

1926(大正15)年12月23日(昭和元年の2日前)

衛生講習会

衛生 + 家庭看護法(一般の看護、各病症に対する看護、治癒介補) + 救急法

1937(昭和12)年 盧溝橋事件、日中戦争勃発

1941(昭和16)年 太平洋戦争開戦

1945(昭和20)年 終戦

1947(昭和22)年

家庭看護法講習

アメリカ赤十字から派遣のエディス・オルソン看護顧問の指導による講習内容

1951(昭和26)年

家庭看護法講習(第一部)

家庭での看護、就床、身じまい、薬と食餌
医師の指示する簡単な手当、伝染病予防

家庭看護法講習(第二部)

妊娠・分娩の知識と看護、乳児の育て方、
1～6才の子供の育て方、不具・老人の慰安

1957(昭和32)年 高度経済成長が始まる

1971(昭和46)年

家庭看護法講習(第三部)

老年期の理解、老人のこころ・からだ・日常
老人の病気と看護、ねたきり老人の看護等

1976(昭和51)年

基礎家庭看護講習

家庭看護法講習(第一部)に実技を拡充した内容

幼児家庭看護講習

家庭看護法講習(第二部)から保健所等で指導する母子保健等を削った内容

老人家庭看護講習

家庭看護法講習(第三部)に「ねたきりにしない看護」の意識を加えた内容

1990(平成2)年 高齢者福祉推進10か年計画「ゴールドプラン」を開始

1994(平成6)年

一般家庭看護講習

基礎・老人家庭看護の一本化

1999(平成11)年

家庭看護法講習(介助員養成)

自立に向けた介護、日常の介護(居室、移動、食事、排泄、衣服、清潔)、家庭内の看護

1999(平成11)年

幼児安全法講習(支援員養成)

こどもに起こりやすい事故の予防と手当、病気と看病、子育ての社会資源の活用

2000(平成12)年 介護保険制度を施行

2009(平成21)年

健康生活支援講習(支援員養成)

健康増進・介護予防、地域の高齢者支援活動、家庭内の看護や介護